

[標準様式例 7-3]

## 随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	荒川水系洪水予測システム改良等業務
業 務 概 要	本業務は、関東地方整備局管内の洪水予測システム構築の一環として、河川水位予測プログラム（荒川水系）の改良及び表示システムへの対象河川の登録のための各種データセットの作成を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部署の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 石原 康弘 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	令和元年10月16日
契 約 業 者 名	日本工営（株）東京支店
契 約 業 者 の 住 所	東京都千代田区九段北一丁目14番6号
契 約 金 額	39,908,000円（税込み）
予 定 価 格	39,908,000円（税込み）
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、技術力、経験、業務に臨む体制などを含めた技術提案を求め、簡易公募型（拡大型）プロポーザル方式により選定を行った。 日本工営株式会社は、技術提案書をふまえ、当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	関東地方整備局
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 （ 自 ）	令和元年10月17日
履 行 期 間 （ 至 ）	令和2年 3月19日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。